



# 輝け 未来へ 中番校

## No one will be left behind



**NLP (NAKABAN LEARNING PROJECT)。目指すは、全員達成!!**

— Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) —

先週、沢山の6年生の児童が校長室に来てくれました。現在、全校生で取り組んでいる **NLP (NAKABAN LEARNING PROJECT)** での1年生の問題集を届けてくれました。さて、6年生にとって1年生の問題集は、どんな風に映っているのでしょうか。ほんの短い時間でできてしまうもの、簡単なもの、何てことないもの、どうしてこんなことしなくてはいけないの、など様々な思っているかもしれませんね。実は、6年生には、このプロジェクトの先駆者となって欲しいと思っています。全校生で何かをする時、何かに取り組む時、その中心となる核が必要です。そして、そのプロジェクトの一番大変な、しんどいところが、その役割を担って欲しいと考えています。このプロジェクトで6年生は、全部で16冊の問題集に挑戦することとなります。どの学年よりも、冊数が一番多いです。大変です。しんどいです。辛いです。嫌になります。しかし、6年生には、是非、やり切って欲しい。その力が学校全体を勢いづけ、大きなうねりとなって学校に「学びの風」を吹かせてくれると信じています。

その問題集のやり方は、①自分で問題を解く。②答え合わせをする。(答えを確認し、赤で○を付ける。③間違っていれば赤で正しい答えを書く。この3ステップです。この問題集をするねらいは、「自分で問題に取り組むこと」「自分で答えを確認し、訂正し、完結すること」です。令和2年度から実施された学習指導要領には「主体的に学習に取り組む態度」が重要視されています。その根幹にあるのが、支えるのが、子供達の持っている「自ら学びに向かう力」です。この「自ら」というところが**大変重要**です。NLPは「単に問題を解く。」ということだけではありません。小さい学年からもう一度学習し直すことで、「解ける!」「分かる!」という気持ちが溢れ、あや

ふやだったものが「あっ。そうか。」「こういうことだったのか。」「この学年でこのことを勉強してたんだ。」というように、今までの自分の学習の履歴を思い出して欲しいと思っています。何も全部を思い出して覚えるというようなことではありません。勉強しても忘れてしまうことなどはよくあること、言わば当たり前です。忘れたことはまた覚えればいいのです。何度でも学習し直せばいいのです。こんな言葉をよく耳にします。「やればできるのに・・・。」「やったらできるのに・・・。」人間の可能性を考えると、思うと、ある意味、その通りではないかとも思います。でも、私は、「やればできる。」とは、「やれば必ずできる。」ということではないと思っています。それは、**やれば、挑戦すれば、「本当に自分が『やれるかどうか』が分かる。」のだと思います。**やらずして、分かることは何もないのだと思います。やったけどだめだった、しかし、できなかったからダメなのではないのです。やること、挑戦すること、そして、その結果から何を学ぶかに意味があるのだと思います。1年生の問題、多分、大丈夫、できると思っている人も多いかもしれませんね。本当に「やればできる」のでしょうか。保護者の皆様はどうお考えになりますか。実際には「やらないと、やれるかどうかは分からない。」と思われるかもしれません。成長する人間は、粘り強い、努力を惜しまない、失敗から学ぶことができる、挫折からの立ち直りが早いと言われます。中番小学校の子供達全員に、「学び直し」、「前学年までの総復習」の達成を求めたいと思っています。自らが取り組んで初めて分かることがある、そう思います。

**今日から兵庫県の緊急事態宣言が延長(9月末日迄)**。学校としてもこのことをしっかりと受け止め、この厳しい状況に対応していく為、今後も**感染症対策(朝の検温、マスクの着用【不織布のマスクが強く推奨されています。】、手洗い、手指の消毒、3密回避等)を徹底**します。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。